

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	高齢者健康増進施策				事業番号	011-293	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	①健やかな生活習慣の形成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025		有	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	健康寿命		
			有	現状値	男性：72.82年、女性：74.46年(2019年度)	目標値	男性：73.40年、女性：76.40年(2025年)

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度(2024)～8(2026)年度）		
3	事業開始年度	令和 4 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度
4	実施根拠	介護保険法、健康増進法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁等					
6	事業の対象	主に60歳以上の高齢者等				対象数	単位
						約277,000	人
7	事業の目的	市民の健康への意識を高め、高齢者の健康増進を図るための取組を一体的に推進し、健康への関心が低い高齢者等の生活習慣の改善を促進する。					
8	事業内容	（趣旨） ・大阪府が実施している、日々の健康活動を記録することでポイントが貯まり、電子マネーやコーヒーなどが当たる抽選に参加できる健康アプリ「アスマイル」の普及・活用を促進する。 （事業内容） ・60歳以上市民を対象として「アスマイル」に堺市独自の市町村オプションを付加し、アスマイルの機能を更に有効活用する。 ・庁内関係部局と連携し、お知らせ配信を月2回以上、アンケートを年4回以上実施する。 ・施策構築の基礎データとしての活用を見越して、庁内関係部局や大学等研究機関との産学官連携による分析・効果検証の手法を検討する。 ・大阪府主催イベントも堺市ポイントで実施しているイベント参加キャンペーンに追加するなど、大阪府と連携した機能を充実させる。 ・デジタル・ディバイドの解消促進を図る。 ・アスマイル普及に向けたプロモーション活動を実施する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	・高齢者の健康増進に向け、60歳以上の市民を対象に「アスマイル」市町村オプションを付加し、本市独自の特典を設定することで、新規登録者の増加を促した。					
9	主な支出先	株式会社NTTデータ関西					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 終了（予定）年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和7年度
	健康に関するお知らせの配信回数	回	目標値	24	24	—	—
			実績値	2	46		
			達成率	8%	192%		
	当該指標を選定した理由	健康に関する情報を発信することで、健康への関心が低い層も含めて幅広く事業効果を生むことになり、KPIの達成に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	2回/月×12か月					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	「アスマイル」登録イベントの配信回数	回	目標値	220	360	—	
			実績値	212	249		
			達成率	96%	69%		
	当該指標を選定した理由	部局間連携により実施する多様なイベントへの参加を促すことが、事業目的である主体的な健康増進や、社会参加・生きがいの創出につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	30回/月×12か月					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	高齢者健康増進施策	事業番号	011-293
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	7,665	7,533	7,830	6,837	0
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（地域福祉推進基金）	7,665	7,533	7,830	6,837	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	12,670	12,650	13,200	13,200	0
	一般財源	0	0	0	0	0
15	年間経費（c）=(a)+(b)	20,335	20,183	21,030	20,037	0

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	報償費	R8	予算	0	0		R8	予算		
		R7	決算	2,500	0		R7	決算		
	役務費	R8	予算	0	0		R8	予算		
		R7	決算	2,027	0		R7	決算		
	使用料	R8	予算	0	0		R8	予算		
		R7	決算	2,310	0		R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 健康アプリ「アスマイル」60歳以上の登録者数	人	15,342	17,636
	② 上記①にかかる年間経費	千円	20,183	20,037
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,316	1,136
算出についての説明等		市町村オプションの対象者である60歳以上登録者数を用いて算出したもの。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	高齢者の自発的な健康活動の促進が重要であることから、令和4年度からアスマイルに市町村オプションを付加して、主に60歳以上の高齢者を対象として普及啓発に重点的に取り組んできた結果、登録者数は事業開始当時の15,969人（令和4年3月末時点）から約2倍増の33,537人（令和8年3月末時点）に、このうち60歳以上は5,084人から事業開始当時から約3.5倍増の17,636人に増加しており、費用対効果があったと考えている。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	健康長寿の実現に向けて、高齢者の健康増進を図る上では、個々の高齢者が主体的に取り組むことが重要であり、アスマイルはスマートフォンのアプリ上で日々の行動を記録することで、自身の健康に関心を高め、主体的かつ継続的な健康活動を促すことができる有効なツールと考えている。 これまでの取組の中で、お知らせ配信機能やアンケート機能を活用することで、市民の健康行動や健診受診状況、健康リスク、地域特性に関するデータや知見が蓄積され、基本計画のKPIである前期高齢者の要支援認定率の低下に寄与したと考える。 これらのデータや知見からは、継続的に健康増進・介護予防施策に取り組むことの有効性が確認できており、今後の施策推進における重要な視点となるため、これまでの取組で得られた知見をもとに健康増進・介護予防施策の更なる充実を図る。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	令和4年度から市町村オプションに加入し、主に60歳以上の高齢者を対象としてキャンペーン等を実施してきた結果、令和7年度の分析をもって継続的に健康増進・介護予防施策に取り組むことの有効性が確認できた。令和8年度は、大阪府においてアプリのリニューアルが予定されており、段階的にサービスが終了すること等を踏まえ、市町村オプションの加入に係る予算計上は行っていない。
	有効性	